

学習目標

歯と歯周組織を顕微鏡を用いて観察し、その構造と機能の関連を学ぶ。また、用いる染色や標本作製法の違いによって観察される構造が異なることを理解する。

■教科書：平成21年度 口腔形態学「歯の組織実習」実習マニュアル

■参考書：1. カラーアトラス口腔組織発生学(わかば出版)
2. 口腔の発生と組織 第2版(南山堂)

■授業時間：10月30日～12月4日、1月29日の金曜日 14:00～16:50。合計7回

■オフィスアワー：本田 雅規 (解剖Ⅱ) 月曜日 11:50～12:50

■成績評価：第7回に実施する実習試験(100%)で評価・判定するが、実習中に顕微鏡を用いて行う“出しもの”小試験の結果と、出欠や受講態度を加味する。

■注意事項：● 実習マニュアル、講義ノート、色鉛筆(12色程度)を用意。白衣着用。
● 実習の進行や理解、受講態度等に問題がある場合、補充措置を課す。
● やむなき事情により実習を欠席する/した場合は、事前あるいは当該実習日の翌日までに自分で担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

授業日・担当者	実習項目	学習到達目標
第1回10月30日 本田 雅規 湯口 眞紀 大津 博司 斎藤 登 高木 英男 森川 保 篠塚 恵造 本間 淳一	1. 歯と歯周組織の全体像 2. エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> 歯と歯周組織を構成する象牙質, 歯髄, エナメル質, セメント質, 歯根膜, 歯槽骨, 歯肉の位置, 相互の関係を理解する。 エナメル質に見られる次の諸構造の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 <p>[エナメル質] エナメル小柱, 小柱間質, 小柱鞘, Hunter-Schreger 条, Retzius 条, 横紋</p>
第2回11月6日 本田 雅規 他	2. エナメル質	<ul style="list-style-type: none"> 脱灰薄切切片, 非脱灰研磨切片の差異, Schmorl 染色の意義を理解する。 エナメル質, 象牙質に見られる次の諸構造の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 <p>[エナメル質] エナメル葉, エナメル叢, エナメル象牙境, エナメル紡錘, 象牙芽細胞突起, 新産線</p>

<p>第3回 11月13日 本田 雅規 他</p>	<p>3. 象牙質</p>	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 <p>[象牙質] 原生象牙質, 第2象牙質, 修復象牙質, 透明象牙質, 硬化象牙質, 死帯, 髓室, 根管, 外套象牙質, 髓周象牙質, 象牙細管, 管周象牙質, 管間象牙質, 象牙前質, 球間象牙質, 球間網, 球間区, Tomes 顆粒層, von Ebner 線, Owen 外形線, Andresen 線</p>
<p>第4回 11月20日 本田 雅規 他</p>	<p>4. 歯髄 5. 歯根膜</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄, 歯根膜に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。墨汁注入標本で歯髄内の血管分布を学ぶ。 <p>[歯髄] 象牙芽細胞層, 細胞稀薄層, Weil 層, 細胞稠密層, 象牙芽細胞, 線維芽細胞, 膠原線維, 血管, 神経線維, Raschkow 神経叢</p> <p>[歯根膜] 歯根膜線維(主線維), 線維芽細胞, セメント芽細胞, 骨芽細胞, 脈管神経隙, Malassez 上皮遺残</p>
<p>第5回 11月27日 本田 雅規 他</p>	<p>6. セメント質 7. 歯槽骨</p>	<ul style="list-style-type: none"> セメント質、歯槽骨に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 <p>[セメント質] セメントエナメル境, 細胞性セメント質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質</p> <p>[歯槽骨] 固有歯槽骨, 束状骨, Sharpey 線維, 層板骨, 歯槽硬線, 骨芽細胞, 骨細胞, 類骨</p>
<p>第6回 12月4日 本田 雅規 他</p>	<p>8. 歯肉 復習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯肉に見られる次の構造や細胞の組織学的な特徴, 成因・役割などを理解し, 顕微鏡下で“見られて見せられる”ように

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1～5回の実習内容の復習を行うとともに小試験を実施する。 <p>[歯肉]</p> <p>口腔上皮, 遊離歯肉, 付着歯肉, 遊離歯肉溝, 歯-歯肉境, 歯肉溝, 歯肉溝上皮, 細胞浸潤, 接合上皮, 歯肉線維</p>
<p>12月11日～1月22日の金曜午後は『発生と発育の実習』を行う</p>		
<p>第7回1月29日 磯川 桂太郎 本田 雅規 白川 哲夫</p>	<p>実習試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1～6回の実習内容を範囲とする試験を(他教科の試験と併せて)実施する。詳細は別途通知する。